

## 博士の愛した数式 (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 117分

初公開日 2006/01/21

公開情報 アスミック・エース

## 【キャッチコピー】

博士と過ごしたひとときは  
私とルートにとって本当に大切な時間でした

## 【解説】

数学を媒介に綴られる美しくピュアな愛の物語が評判を呼び第一回本屋大賞に輝いた小川洋子の同名ベストセラーを、寺尾聰、深津絵里主演で映画化した感動ストーリー。監督は「雨あがる」「阿弥陀堂だより」の小泉堯史。共演に、吉岡秀隆、浅丘ルリ子。80分しか記憶が続かない初老の天才数学者と一組の母子の心温まる交流を優しく静謐な眼差しで描く。

家政婦をするシングルマザーの杏子が新たに派遣された先は、交通事故に遭って以来80分しか記憶が持たなくなってしまうという天才数学博士のもと。杏子は最初に博士の義姉から説明を受け、博士が住む離れの問題を母屋に持ち込まないようクギを差される。そして当の博士は記憶を補うために着ている背広にいくつものメモを貼り付けていた。80分しか記憶が続かない上、数学のことだけを考えて生きてきた博士とのコミュニケーションは杏子にとって困難の連続。それでも少しずつ博士との接し方を学んでいく杏子。同時に彼女は、博士の語る数や数式に秘められた神秘的な美しさに魅了されていく。やがて、10歳の息子が一人で留守番していると知った博士は、息子も連れてくるよう杏子に約束させる。そして博士は息子がやって来ると彼のことを $\sqrt{\quad}$ （ルート）と呼んだ。ルートと博士はすぐに打ち解け合い、これを境に3人の間に楽しく和やかな時間が流れていくようになるのだが…。

## 【クレジット】

監督	小泉堯史	
エグゼクティブプロデューサー	椎名保	
プロデューサー	荒木美也子 桜井勉	
原作	小川洋子	『博士の愛した数式』（新潮社刊）
脚本	小泉堯史	
撮影	上田正治 北澤弘之	
美術	酒井賢	
衣装コーディネーター	黒澤和子	Kzuko Kurosawa
編集	阿賀英登	
音響効果	斎藤昌利	
音楽	加古隆	
照明	山川英明	
録音	紅谷愼一	

装飾  
出演

柴田博英  
寺尾聰  
深津絵里  
齋藤隆成  
吉岡秀隆  
浅丘ルリ子

博士  
杏子  
ルート  
先生（ルート）  
未亡人